



今みなさんの多くが、地域の将来に不安を感じておられるようです。戦後63年の平安の中で平和を使い果たし、生活が豊かになり、あまりにも簡単に幸福になりすぎたために、気がついたら地域や人々のつながりが薄らいだように思います。そして今、国が、地域がいろんな問題に直面しています。いずれにしても私たちはこの危機を乗り越えなければなりません。そのためには、人と人、地域と地域の「絆(きずな)」を大切にして、吉野がひとつになって以前の元気な吉野にしていかなければならないと思います。

寒い日が続いていますが、風邪などひかないように気をつけてください。

## シリーズ吉野を考える(第六回)

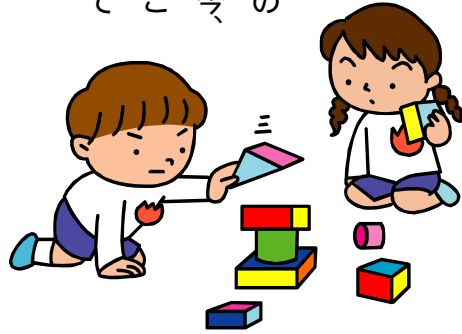
### 今、一つになつて考えるよつこ

一番大事なものは？と聞かれたらどう答えますか？

「命」と答える人は多いでしょう。それは誰の命ですか？自分の命、子供の命、孫の命。はたして自分の子供の命だけが大切なのでしょうか？

極端な話、世界に自分の子供しかいなくなつたら生きていけるのでしょうか。私達は周りの環境によつて生かされていくといつても過言ではありません。

この大事なものを守るために今、私達ができることは何か考えてみませんか。



シリーズ1回目の限界集落の話では、55歳以上の人口比率が50%を超える限界集落が吉野町では、36地区中28地区もあり、集落の自治、生活道路・水路の管理、冠婚葬祭など、共同体が衰える限界集落まで残された時間はそ

んなに多くないことを紹介しました。

2回目では、そうした超高齢化を迎える高齢者に目を向け、意欲と経験のある高齢者を就労可能する環境づくりと、お



年寄りが長年にわたつて積み重ねてきた知識・経験・技能が十分に活かされるボランティア活動に積極的に関わることができる社会の構築を考えました。

3回目は、それらを支える財政が厳しくなつていく吉野町を強化する一つの方法としての、市町村合併協議はなんだつたのかと問いかけ、大勢に流されることなく行政サービスのあり方、住民と行政の関係について見直すことの大切さを感じました。

4回目では、安全と安心に目をむけ、子供が犯罪や事故に巻き込

まれないためにも、地域の大人たちがあいさつ声かけをし、子ども達を見守る必要性と、いつ起こるかかわからない災害に備え、地元住民だけではなく観光行楽客にも分かりやすい避難場所の表示看板の設置や、さらには隣近所の小さなコミュニティを大切に、地域内でお互いを助け合う町づくりの推進を提案しました。

5回目では、収入が伸びなやみ公共料金の負担が大きいのし掛かる社会の中で弱者ともいえる子どもとお年寄りの話で、子どもの医療費の無料化や、学童保育の早期実現、安心して老後が暮らせるよう負担が少しでも軽くなるような介護施設の必要性やもつと便利な福祉パスの見直しを訴えました。

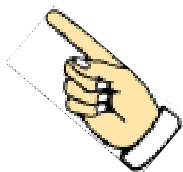


他にも、まだまだ吉野町ではやらなければならないことは、山積みです。これらのことを実現していくためには、今、私達一人ひとりが何ができるのか、何をやっていかなければならないか考えていかなければなりません。明日の吉野町のために、皆が「心ひとつ」に頑張っていきましょう。



ちよつと教えて、「いつへいちゃん

お答えします！お調べします！

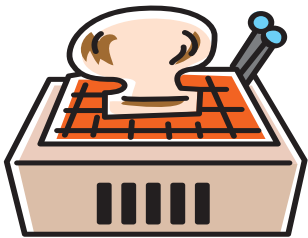


**問** 少し前になりますが、こんやくゼリーが、のどに詰まるということとで販売中止になったニュースを見ました。

正月には、おもちを食べたお年寄りが、のどにもちを詰まらせて、大騒ぎになったという話をよく聞きます。

うちにも、八十過ぎの父がいますが、もしこのようになつたらと、不安に思っています。何かよい対処法はないのでしょうか。

(43歳・主婦)



**答** おもちは粘りが強く、大きなかたまりのまま飲み込むと、気道の入り口につまりやすく吐き出す力が弱い高齢者にとっては、注意が必要です。まずは、のどにつまらないよう、小さくきって食べたり、のどを湿らせてから食べるなど家族の方々の注意が必要です。

もし、のどに詰まった場合は、家族や隣人などに応援を頼み、できるだけ早く119番に連絡して救急車を要請してください。

救急車が到着するまでの間、もし口をのぞいておもちが見えたら、指にガーゼなどを巻き、円を描くようにして、奥に押し込まないように注意してふき取る。また、もちが見えない場合は、うつむかせて、両肩の肩甲骨の間を平手で力強く数回たたく。口の中を確認してもちが見えたら指でとる。

そのほか掃除機の吸い込み口に細かいノズルをつけ、吸引する方法もありますが、肺への影響など有害な面がないとは言いきれませんのでお勧めはできません。

事故のないよう注意をはらいながら、楽しい正月を過ごせればよいですね。



ご声援ありがとうございます。



「元気な吉野」も今回で第12号の発行となりました。これまでに、多くの方々からご声援を頂戴いたしました。これからも、元気な吉野に向けて精一杯努力して行きますので、引き続きご支援頂きますようよろしくお願い致します。

「元気な吉野」を拝読させてもらっている者です。た。これからも、応援しますので、頑張ってください。

西沢さんが『シリーズ吉野を考える』に連載されている内容を是非、私たちの目線に立ち町政に反映できるよう、議会で北岡町長と共に活躍されることを期待しています。

今まで何度か新聞と一緒に配られてきた「元気な吉野」を読みました。いま私たちが直面している過疎化や少子高齢化社会などの問題について、現状や対策が書かれていました。しっかりと現実を見つめて、みんなの将来のことを考えてくれるように感じました。これからもがんばってください。

私が西沢さんを応援する理由は、「誠実で実行力がある」「心から吉野の未来を考えている」だから、わたしは応援します。

なにか行動を起こそうとすると必ず批判を受けます。でも、それに屈指ないでがんばってください。

「元気な吉野」を読みました。吉野町に対して、どれだけ真剣に取り組んでいるかわかりません。西沢さんには、ほかの人には無い魅力を感じます。だからこそ期待しています。